

会 議 録

会 議 名	令和元年度 第1回三芳町地域公共交通会議
開 催 日 時	令和元年9月19日(木) 午後3時開会 午後4時閉会
開 催 場 所	三芳町役場 3階 301会議室
主宰者氏名	三芳町長 林 伊佐雄
出席者	林会長、板谷副会長、伊藤委員(区長会長代理)、忽滑谷委員、照井委員、藤田委員(埼玉県乗用自動車協代理)、松本委員、山田委員、篠原委員、島田委員、高橋委員、田中委員、近藤委員
欠席者	鶴岡委員、内田委員、佐藤委員、青木委員、金井委員、名取委員、三室委員
傍聴者	なし
事務局職員	【政策推進室】富田主幹 越前谷 新村
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 委員・事務局紹介</p> <p>4 議題</p> <p>(1)ライフバス再編にかかるスケジュールについて</p> <p>(2)スクールゾーン解除の方針について</p> <p>(3)公共交通補助事業・高齢者運転免許証自主返納支援制度の実施状況について(報告)</p> <p>(4)その他</p> <p>5 連絡事項</p> <p>6 閉会</p>
会議結果	<p>・ライフバス路線変更運行開始日について、来年5月への延期を了承。</p> <p>・スクールゾーンの解除に関して、安全について再検証をしつつ、解除を進めることを提言。</p>
配布資料:会議次第	<p>資料1 再編スケジュール(案)</p> <p>資料2 スクールゾーンの見直しについて</p> <p>資料3 新路線 運行ルート案・バス停案</p> <p>資料4-1 平成30年度公共交通補助事業年報</p> <p>資料4-2 平成30年度高齢者運転免許証自主返納支援制度年報</p> <p>参 考 これまでの新路線運行ルート案</p>

議題・発言・結果

1 開会

2 会長あいさつ

3 委員・事務局紹介

4 議事

(1) ライフバス再編にかかるスケジュールについて

(2) スクールゾーン解除の方針について

【質疑応答・意見】

委) 19号線が危険だということであれば、19号線をスクールゾーンに指定するということは考えられないか。

事) 17号線・5号線の解除を行った後に、交通動向を見極めて、スクールゾーン化ということも検討していく方針である。

委) スクールゾーンであることによって、一定程度の安全が確保されて子供の命も守られていることも事実である。そのことをふまえて、安全性の確保については、改めて検証してほしい。

事) スクールゾーンに関係する課は複数にまたがるので、連携して安全対策についても協議していきたい。

委) 資料2の19号線が、資料3の地図上のどこにあたるか、説明をお願いしたい。

(隣席の委員が資料3を用い、直接教示する)

委) スクールゾーンの解除によって、一般車両の流れが変わってくると思うので、安全対策の検証は十分にやってほしい。路線の変更延期については、工事の進捗状況などを鑑みると、いたしかたないのかと思う。

委) (担当課として) 5号線の歩道未整備箇所については、11月頃から工事を始めるスケジュールを考えている。

委) スクールゾーンを避けるルートを採用せず、路線が単純化されることは、利用者にとっては良いことだと思う。同時に、安全対策について、不要な懸念が生じないように調整を進めてもらって、最終案を提示してほしい。

委) 国道254線を通るルートが設定されているが、交通量の多い箇所もあって、安全対策については、警察との協議など進めているのか。特に、新しくバス停のできる箇所などは、渋滞の原因とならうのではないか。

委) (担当課として) 国道の渋滞などについては、これまでの警察との協議の中には挙がってきていないが、安全対策と合わせて協議の場に渋滞対策も挙げていきたいと思う。

【議事(1)および議事(2)について、各委員に諮ったところ異議はなく、承認された】

(3) 公共交通補助事業・高齢者運転免許証自主返納支援制度の実施状況について(報告)

【質疑応答・意見】

委) 三芳町内の運転免許証返納者の数は。

事)年間120人となる。

委)約半数近くの返納者が、制度の利用をしていないということになるが、何か要因は考えられるか。

事)警察署のほうでも、免許返納者に対して、三芳町の補助制度があることを周知していただいているが、それでも申請率が約50%ということになる。考えられる要因としては、免許を返納した後にわざわざ役場まで申請しに来なければならないというひと手間があるために半数に留まってしまうのではと考えられる。

委)行政がこうした支援制度を続けていくにあたっては、費用対効果というものが求められると思う。

返納支援制度がある自治体の申請率と支援制度がない自治体の免許返納率などと比較して、三芳の支援制度が効果があるということになれば、支援制度を継続していくための補強材料となる。ぜひ他の自治体との比較ということを進めていただきたい。

委)おそらく今後は自身が元気うちに返納するという方が多くなってくると思うので、返納者は増えていくことと思われる。

(4)その他

【質疑応答・意見】

特になし

5 連絡事項

6 閉会